

## 第2回 東大和市公園等再整備方針・再整備計画策定検討会

### 会議要録

- 1 **日時** 令和7年4月24日（木）10時00分～12時00分
- 2 **場所** 東大和市役所会議棟第7、8会議室
- 3 **出席委員** 佐藤 伸朗（座長）、町田 誠（副座長）、松浦 光明、亀山 明子、  
山本 尚幸、五十嵐 弘充、木内 健司、秋山 治雄、寺島 由紀夫
- 4 **事務局** 金子まちづくり部長、鈴木公園緑地担当課長、鈴木計画係長  
齊藤主事、末吉主事

#### 5 次 第

- 1 座長挨拶
- 2 議事
  - (1) 本日の検討会でご意見いただきたい事項
    - ①第1回検討会の振返り及びその後の対応状況について
    - ②「公園等再整備方針（素案）」について
    - ③市立狭山緑地における今後の民間活力導入に向けた進め方について
  - (2) 今後の検討会スケジュールについて

## 6 議事要旨

### (1) 本日の検討会でご意見いただきたい事項（事務局から資料説明）

#### （質疑応答）

#### ①第1回検討会の振返り及びその後の対応状況について

##### ○副座長

東大和市公園等再整備方針・再整備計画（以下「公園等再整備方針・計画」という。）を検討するに当たって、公園等に係る整備費や維持管理費の削減が必要なのか。その必要性の有無によって公園等再整備方針・計画の記載内容も大きく変化するため、確認していただきたい。

##### ○事務局

確認を行う。

##### ○副座長

市民ヒアリングでは、市内の公園全体に対する意見だけでなく、各公園に対する個別の意見も把握しているのか。

##### ○事務局

市民ヒアリングでは、市内の公園全体に対する意見を聴取することに加え、普段どの公園を利用しているか等、個別の公園に関する意見も伺い、実態把握に努めている。

##### ○委員

都立公園とは今後連携して事業を行うなど、市として何か計画をしていることはあるか。

##### ○事務局

現時点で、都立公園において、東京都と連携した取組の予定はないが、今後、東京都と連携した取組を行っていきたいと考えている。

##### ○委員

令和2年度から令和6年度までに相当数の意見・要望が寄せられている。特に、維持管理に関する声が多い。狭山緑地のような大規模な公園だけではなく、その他の公園にも民間活力導入を検討し、市民の要望に応えられるようにしていただきたい。

##### ○委員

資料によると、市民や団体の利用状況は、500㎡以上の公園では多くなっており、500㎡未満の公園では少ない傾向にある。

このことから、公園の面積や利用状況などに応じて、それぞれの公園に適した方向性を検討していくことが望まれる。また、500㎡未満の公園においても、遊具は設置されているのか。

## ○事務局

500 m<sup>2</sup>未満の公園は、多くがマンションや分譲住宅の整備時の開発行為に伴い、条例等に基づき設置された提供公園であり、ほとんどの公園に遊具が設置されている。

しかし、整備から長い年月が経過している公園が多く、老朽化が進んでいるのが現状である。こうした状況の中で、公園管理者である市としては、雑草や樹木の繁茂による維持管理上の課題など、様々な対応が求められている。そのため、今後は公園ごとの機能分担や位置づけについて検討していく方針である。

## ②「公園等再整備方針（素案）」について

### ○副座長

「東大和市公園等再整備方針(素案)」では、実質的な課題は今後の維持管理にあると考える。本日示していただいた方針のタイトルの再整備という用語は、公園への投資をイメージさせる。一方で、現実的には維持管理運営の最適化といった視点を含んだ再整備方針になると考えているため、タイトルにも「維持管理」という用語を入れ込む必要があるのではないか。

また、利用実態が乏しい公園については、遊具の撤去や機能の見直しを含めた再構成も視野に入れるべきではないか。

さらに、今回の公園等再整備方針・計画の大きな考え方としては、公園を大幅に削減するとまでは言えないが、市の限られた財源の中、持続可能な維持管理を実現するため、マンション等の開発時に整備された小規模な公園や使用頻度の低い公園等について指定管理者の導入方法を考えるなど、市が維持管理する総量を減らす、いわゆる「ダイエット」という考え方を取り入れていくべきではないか。

### ○事務局

これまで市は、限られた財源の中で公園整備や維持管理を実施してきたが、必ずしも十分な対応が出来ていなかった。今後についても厳しい状況が続くと見込まれており、公園についても現状の施設規模が適切なのか、また、維持管理可能な水準にあるかなどを見極めたうえで、民間活力の導入も含め、より効果的かつ効率的な再整備・維持管理運営のあり方について見直していく必要があるという考えである。

### ○委員

公園等の再整備を中途半端に行うと逆に利便性が低下し、結果的に来園者数が減少してしまうのではないかと懸念されている。市民ニーズに応じた改善等を図り、計画的に事業を進めていく必要がある。公園の利用者は多様であり、子ども向け、大人向け、高齢者向けと、それぞれのニーズに合わせた再整備が求められる。

### ○事務局

今後、公園そのものをなくしていくのか、また、公園内の遊具をなくしていくかについても検討会の中で議論を進めていきたい。例えば、公園の役割として、集ま

ることだけが目的の場合、公園に遊具は必要ではないとも考えられる。今後の公園等の再整備・維持管理においては必要な部分に予算をかけ、不要な部分を削減する選択肢も考慮しながら、検討を進めていく考えである。あわせて、特色ある公園づくりにも目を向けていきたい。

#### ○座長

先日、開催された上仲原公園におけるパークマルシェの状況について、教えてほしい。

#### ○事務局

上仲原公園において 4 月 20 日に、今後の公園を活用した公民連携の視点から、公園の活用モデルを模索するための社会実験として、「パークマルシェ with niko フェス in 東大和市上仲原公園」を開催した。このイベントとあわせて、上仲原公園のニーズ調査として公園投票を実施した。

市民からは、公園遊具の利用だけでなく、様々なワークショップへの参加ができるため、小さな子どもでも楽しく過ごすことができた。また、このようなイベントを上仲原公園で実施する場合、園内の既存施設を利用することにより混雑を回避することができ、休憩や飲食をすることができたなどの意見があった。さらに、出店者からも、これまで東大和市でこのようなイベントがなく出店する楽しみがあった、人と人との触れ合いができて良かった等の好意的な意見が寄せられた。

#### ○委員

芋窪地域からだとう上仲原公園は遠く、駐車場の台数も少ないため行きづらい。他地域でも同様のイベントを開催してもらいたいが、開催可能な公園が少ないという現状もある。

#### ○事務局

上仲原公園でのイベント当日はテニス・野球の市内大会と日程が重なってしまい駐輪場が混雑してしまった。今後、別の公園での開催をするに当たっては、来場者のための駐車場、駐輪場の確保が、イベント運営の課題となると考える。

#### ○座長

委員の方で、公園の維持管理について、指定管理者制度などの民間活力導入に対する意見があればご教示いただきたい。

#### ○委員

民間活力導入について、実際のところ指定管理者制度を導入するよりも、行政が直営で行った方が維持管理費用を抑えられる場合もある。他市では植栽管理が指定管理業務に含まれていないケースもある。維持管理業務の全てを一括で指定管理とするのではなく、施設の管理とソフトの運営部分は別にするなど、状況に応じて柔軟に検討していくことが望ましい。

### ○副座長

指定管理者制度の導入に当たり、過去には行政が経費削減を見込んで導入するケースが多かったが、受託者側としては、魅力的な公園等の実現という実績を作るために必要な費用を計上するため、近年では必ずしも経費削減に結びつかないケースもある。逆に、近年の物価高騰や人件費の増加により費用が増加してしまうケースが出てきている。

### ③市立狭山緑地における今後の民間活力導入に向けた進め方について

#### ○委員

ローラースライダーの整備について、他市でも同様の事例があるかと思うが、費用対効果がどう反映されているか示してもらいたい。

#### ○事務局

類似事例の来場者数や料金設定についての情報は適宜、収集しているところである。引き続き、ローラースライダーの費用対効果等を確認しながら、内容の見直しを図る予定である。

#### ○委員

埼玉県でローラースライダーを設置している公園を2か所知っているが、利用者が少ない印象だ。他事例の状況を踏まえると、ローラースライダーのみ先行して整備を進めることは得策ではなく、スケジュールの見直しについて異論はない。

#### ○副座長

狭山緑地における近年の維持管理費増加の要因を確認したい。

#### ○事務局

ナラ枯れ対策費用が主な増加の要因となっている。

#### ○座長

今後、狭山緑地における民間活力導入に向けた事業発案段階のサウンディング調査はどのように進める予定か。

#### ○事務局

狭山緑地の現状や課題と郷土博物館の今後の活用等を共有した上で、民間事業者に対して、民間活力導入の可能性や具体的な提案を聴取していくことになる。また、ローラースライダーを含むフィールドアスレチック改修事業の今後の方向性を整理し再構築するためにも、民間事業者の意見やノウハウを効果的に反映させる機会としたい。

#### ○委員

下立野林間子ども広場が閉鎖となったが、プレーパークを狭山緑地で行えないか検討をしていただきたい。

**○事務局**

プレーパーク事業者にもヒアリングを行っており、今後検討を進めていきたい。

以 上